

令和6年度第2回母子保健対策小委員会

- 日 時 令和7年2月12日(水) 午後3時～午後3時50分
 ■ 場 所 オンライン開催
 ■ 出席者 18人
 前垣委員長
 松田・岡田・橋田・長田・大谷・戸川・中村・美野・村岡・岸岡各委員
 県家庭支援課：小倉参事監、松本課長、岡田課長補佐
 健対協事務局：岡本事務局長、岩垣次長、田中係長、廣瀬主事

挨拶（要旨）

〈前垣委員長〉

検診医確保の問題、マニュアル改訂、1か月児健診や5歳時健診等の大きな課題が多くあり、本日は皆様の意見を伺い、今後の方針等について協議する。よろしくお願いいたします。

議 題

1. 乳幼児等健診体制に係る今後の対応方針について

乳幼児健診は市町村事業であり、市町村の責任において診察医の確保を行う必要があるが、全県で健診医の高齢化等に伴い、市町村単独で医師を確保するための交渉を行うことが困難になってきている。中長期的な持続可能性を念頭に置き、乳幼児健診の体制等について、以下の方針に沿って県・医師会・市町村・医療従事者が協調して取り組んでいくこととなった。

1. 実施体制について

- ・各市町村の乳幼児健診の実施体制及び健診医の先生方（必要時にご協力をいただける先生を含む）の情報を医師会等の協力のもと一覧化し、各市町村・保健所・圏域医師会等の関係機関で共有することにより、健診医の不足枠の調整や

急な代打対応の調整の円滑化を図る。

- ・中長期的な対応として、乳幼児健診を病院で実施する方法や、園医による5歳児健診の実施等について、実現可能性を継続的に検討していく。
- ・委託単価の統一について、各市町村と協議を進めていく。

2. 健診の実施方法について

- ・3歳児健診については、小児科医の先生のほか、内科医にもご協力をお願いしていく。
- ・5歳児健診については、各市町村における実施方法の違い（実施回数、所要時間、ピックアップ方法、問診項目、医師の診察方法、保健師の役割等）を明らかにした上で、健診に係る医師の負担軽減や効率化の観点から、可能な限り標準化を図る。
- ・5歳児健診において、SDQや保護者の希望によるピックアップ方式を採用している市町村については、国の動きも見据えつつ、対象者全員に問診を行う体制の整備を目指していく。

3. スキルアップ研修について

- ・3歳児及び5歳児健診における診察方法等について、小児科医及び内科医の先生方への研修会の実施（県事業）を検討していく。
- ・5歳児健診における各関係機関の役割や、保健

師・保育士・福祉専門職のための人材育成（スキルアップ）を目的とした研修会（県事業）を実施する。

・各先生方等からいただいたご意見など

1. 協力医候補リストの作成について

○健診医の調整主体は、市町村により様々。

東部：検診医の調整に東部医師会は関与していない。市が取りまとめた結果を東部医師会へ提供。

中部：検診医の調整は全て中部医師会が実施。

西部：米子市の1歳6か月健診以外の検診医の調整は西部医師会で実施。米子市以外は直接調整。

○退職予定／退職済みの病院の先生方の情報をリストに載せてほしい。

○各医師の対応状況までを正確に記載することは難しいと思う。

○本人の許可なくリストに掲載することは難しいのではないか。新たに実施予定の研修等での同意取得や、急患診療所対応協力医、既存の講習（小児救急地域研修会など）参加者へのアプローチが可能か。

2. 学校医について

○学校医の確保も小児科医だけでは難しくなっている（東中西いずれも）。学校の健診は6月までにやる必要があり、乳幼児健診と時期をずらすのも大変。

○内科医にも学校医を担っていただく方向で圏域ごとに医師会・市町村等において調整し、乳幼児健診にご協力いただける小児科医のリソースを確保すべきではないか。

○3歳児健診を内科医にご協力いただくよりも、学校医を内科医にご協力いただく方が現実的ではないか。

3. 病院勤務医の協力について

○協力医の高齢化が進んでおり、先生が入院されたりということもある。

○総合診療医の先生にご協力いただくことも考えられるのではないか。

○病院で集団方式の乳幼児健診を実施している例が他県であるか。⇒確認した範囲ではなかった。

2. 令和7年度乳幼児健診等に係る研修（案）について

乳幼児等健診体制に係る研修会として、乳幼児健診に係る講習会や5歳児健康診査に係る従事者研修会を、令和7年度から乳幼児健診等マニュアルの改訂後に、下記のとおり開催することとなった。

・乳幼児健診に係る講習会を、健診医の育成等を目的に、小児科医及び内科医を対象に実施。

・5歳児健康診査に係る従事者研修会を、健診医と専門職に対象者を分けて実施。

1. 鳥取県健康対策協議会で開催する講習会

1) 研修	乳幼児健診に係る講習会（年1回）
2) 趣旨・目的	県の乳幼児健診マニュアル等に基づいた研修を実施していくことで、県内における標準的な健診の実施や健診医の育成（新たな健診医の養成含む）を図る。
3) 概要	乳幼児健診における診察の内容や流れ、診察のポイント等について *可能であれば、1か月児健診内容を含む。 *特に、3歳児健診等にご協力いただく内科医の募集・養成を目的の一つとするもの。
4) 方法	オンライン開催 *当日の研修を録画し、後日でも確認できるよう配信をしていく。 *研修受講者については、別途、乳幼児健診協力医として登録を求める仕組みとする。

2. 県で開催する研修会

1) 研修	5歳児健康診査に係る従事者研修会 ①健診医を対象とした研修会（年1回） ②専門職（保健師、保育士等）を対象とした研修会（年2回）
2) 趣旨・目的	①5歳児健診の目的や診察内容、診察の流れ、ポイント等について伝えていくことで、診察方法の標準化を図るとともに、新たな健診医の養成を目指す。 ②県のマニュアルや自治体の実践をととして、本県における5歳児健康診査（発達相談）の体制の在り方、医師をはじめとした専門職の役割等について考える。
3) 概要	①5歳児健診の目的や診察内容、診察の流れ、ポイント等 ②県のマニュアル等から健診の目的や診察内容と合わせた専門職の役割の説明、県内における5歳児健診（発達相談）の取組事例をととして、課題の認識や各専門職で取り組むことが望まれる支援について考える。
4) 方法	①オンライン開催 ②対面 *当日の研修を録画し、後日でも確認できるよう配信をしていく。 *国の5歳児健診マニュアルに係る動画配信について、県医師会等HPへ掲載し活用していただく。

委員から、内科医の先生にご参加いただける内容がよいため、参加対象者を分ける、ハイブリッド開催等の開催方法の検討もできるとよいとの意見があった。

3. 乳幼児健診等マニュアルの改訂について

鳥取県乳幼児健康診査マニュアルの間診項目については、成育医療等基本方針に沿った項目の見直しが必要であること、現在、市町村独自の間診項目が多くなってきており、県内市町村及び県外との比較が難しい状況になっていることなどから、国が示す乳幼児健診票の項目と記載を統一する方向で検討することとしている。

令和5年度から1か月児健診及び5歳児健診に係る国補助事業が開始され、令和7年度より本県

も全市町村において実施予定としている。

現在、1ヶ月児健康診査については県マニュアルで定めているところであるが、国からマニュアル及び標準的な診査票の様式が示されたことを踏まえ、本県におけるマニュアルの見直しを行う。また、昨年度、国の5歳児健康診査マニュアルが示されたことから、本県における5歳児健康診査の在り方を検討していくとともに、令和8年度に向けてマニュアルの改訂を行う。

前垣委員長が5歳児健診マニュアルの改定方法を検討することとなった。

今後のスケジュールとしては下記の通り。

時期	内 容
令和6年度中	各担当の改訂案をまとめる
令和7年春頃	全体で協議
令和7年夏頃	乳幼児健康診査マニュアル（改訂版）完成